

古河電工グループ° 2024年度第3四半期決算

2025年2月12日

古河電気工業株式会社

取締役 兼 執行役員 財務本部長 青島 弘治

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

Agenda

- 24年度Q3決算のポイント
- 24年度Q3実績
 - 要約P/L
 - 売上高・営業利益の増減要因
- 24年度通期予想
 - 要約P/L
 - セグメント別 営業利益
- セグメント別 売上高・営業利益（Q3累計・通期予想）
- 24年度Q3実績-要約B/S
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 25年度に向けて
- 期末配当予想

Appendix

24年度Q3決算のポイント

■ 前年比で増収増益

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY23_Q3 累計	FY24_Q3 累計	前年比	
	a	b	b-a	
売上高	7,653	8,820	+1,167	すべてのセグメントで増収
営業利益	▲ 6	314	+320	サービス・開発等を除くすべてのセグメントで増益
経常利益	▲ 30	361	+391	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲ 65	164	+229	
銅建値 平均	1,249	1,481	+232	
為替 平均	143	153	+9	

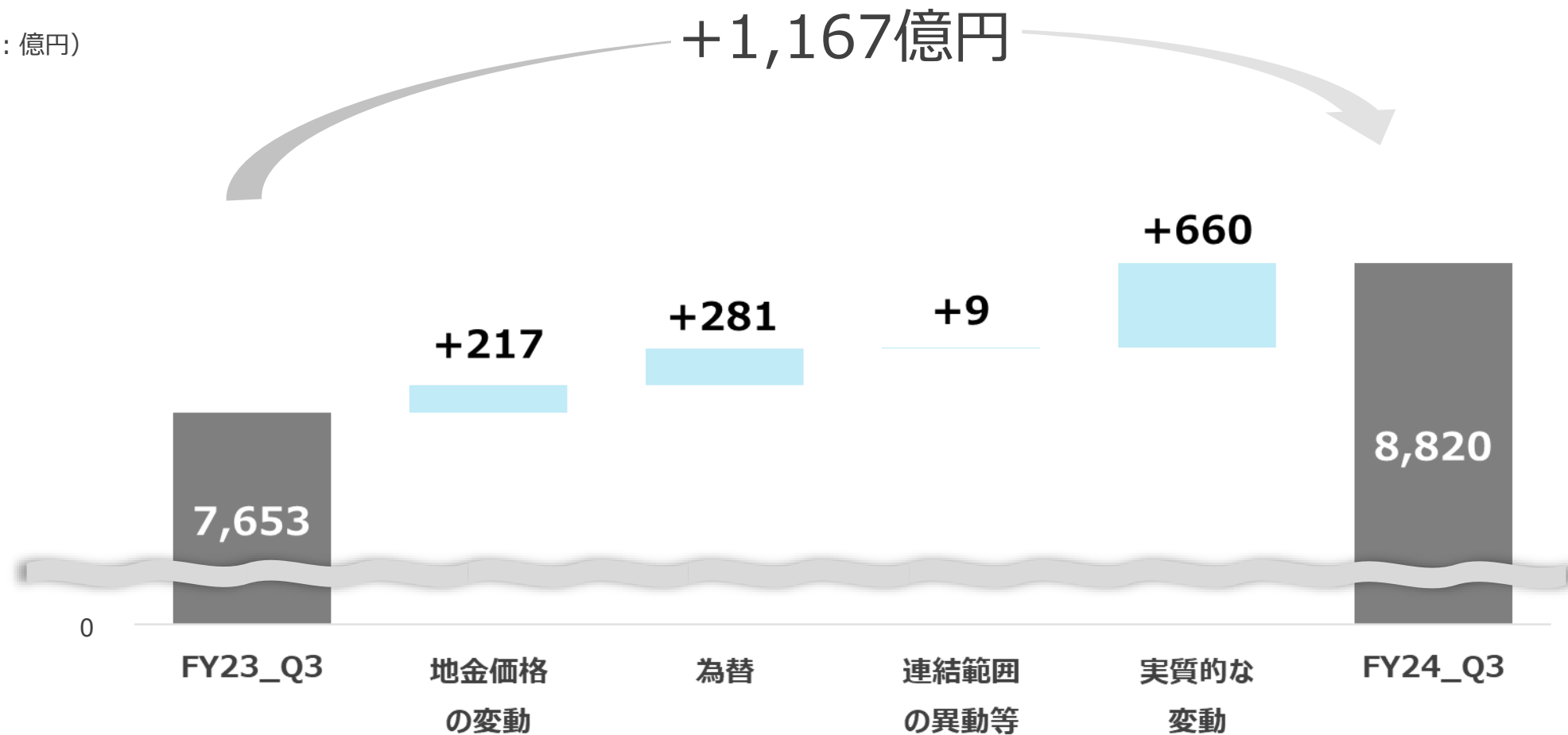
24年度Q3実績-要約P/L

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY23_Q3累計		FY24_Q3累計		前年比		主な増減内訳 (Q3累計前年比)
		10-12		10-12		10-12	
	a	a'	b	b'	b-a	b'-a'	
売上高	7,653	2,622	8,820	3,116	+1,167	+495	6ページ参照
営業利益	▲6	41	314	139	+320	+98	7ページ参照
(率)	▲0.1%	1.5%	3.6%	4.4%	+3.6	+2.9	
受取/支払利息	▲55	▲19	▲59	▲19	▲4	▲0	
持分法投資損益	36	14	82	21	+47	+6	
為替損益	▲10	▲31	▲4	22	+6	+53	
経常利益	▲30	7	361	171	+391	+165	
(率)	▲0.4%	0.3%	4.1%	5.5%	+4.5	+5.2	
特別損益	27	▲8	▲77	▲46	▲105	▲38	・特別利益：▲48 (65→18)
法人税等	▲53	▲16	▲96	▲65	▲43	▲48	・特別損失：▲57 (▲38→▲95)
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲10	▲6	▲25	▲9	▲14	▲3	
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲65	▲24	164	52	+229	+75	
(率)	▲0.9%	▲0.9%	1.9%	1.7%	+2.7	+2.6	
銅建値 平均	1,249	1,264	1,481	1,449	+232	+185	
為替 平均	143	148	153	152	+9	+5	

製品補償引当金
繰入額の計上
(FY24_Q3)

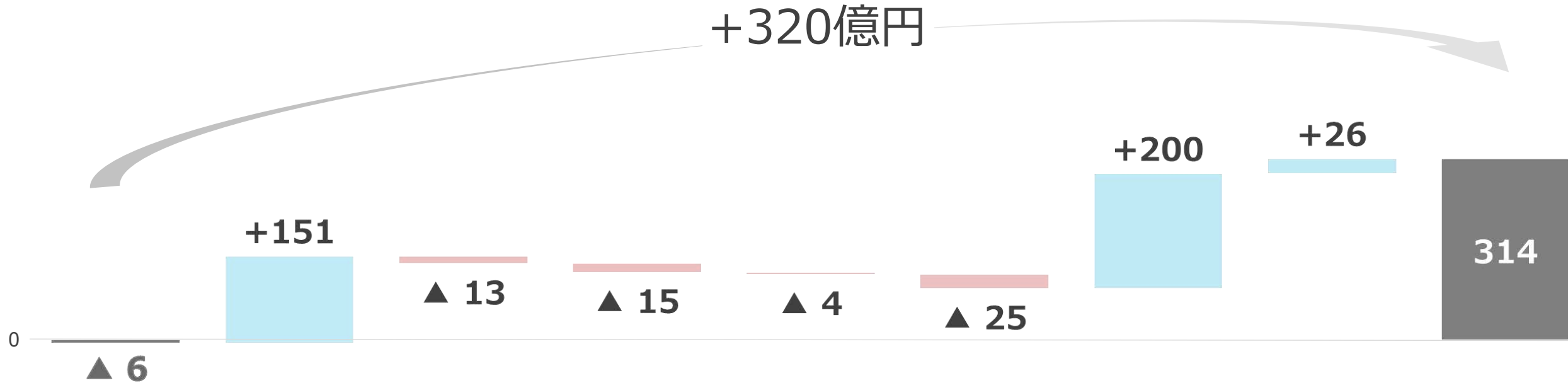
24年度Q3実績-売上高の増減要因

(単位：億円)



24年度Q3実績-営業利益の増減要因

(単位：億円)



FY23_Q3

● 売上増

● 原燃料・物流費*
* 為替影響含む

減価
償却費

研究費

その他
固定費

● 改善効果等

為替

FY24_Q3

情報通信S : +5
エネルギーインフラ : +49
自動車部品・電池 : +29
電装エレクトロニクス材料 : +5
機能製品 : +62
その他 : +1

自動車部品・電池 : ▲ 2
機能製品 : ▲ 9
その他 : ▲ 2

情報通信S : +34
エネルギーインフラ : +37
自動車部品・電池 : +90
電装エレクトロニクス材料 : +12
機能製品 : +27

24年度通期予想-要約P/L

■ 売上高および各段階損益の通期予想を上方修正

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	10,565	11,400	11,900	+1,335	+500
営業利益	112	380	420	+308	+40
(率)	1.1%	3.3%	3.5%	+2.5	+0.2
受取/支払利息	▲ 74	—	—	—	—
持分法投資損益	63	—	—	—	—
為替損益	▲ 1	—	—	—	—
経常利益	103	360	460	+357	+100
(率)	1.0%	3.2%	3.9%	+2.9	+0.7
特別損益	98	0	50	▲ 48	+50
法人税等	▲ 116	—	—	—	—
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 20	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	65	220	300	+235	+80
(率)	0.6%	1.9%	2.5%	+1.9	+0.6
銅建値 平均	1,262	1,396	1,453	+191	+57
為替 平均	145	146	152	+7	+6

電装エレクトロニクス材料
(銅価・為替変動) 等

エネルギーインフラ
自動車部品・電池

持分法投資損益の増加
為替差益の増加

前回予想時：H2前提
銅建値：1,295円/kg
為替：140円/米ドル

Q3実績：
銅建値：1,449円/kg
為替：152円/米ドル
Q4前提：
銅建値：1,370円/kg
為替：150円/米ドル

* 2024/11/7公表

24年度通期予想-セグメント別 営業利益

主なセグメントの営業利益

(単位：億円)											
セグメント	サブセグメント	H1	H2	FY23	FY24* 前回予想	H1	H2 Q3	FY24 予想	前年比	前回 予想比	主な修正要因
				a	b			c	c-a	c-b	
インフラ	情報通信 ソリューション	▲ 60	▲ 69	▲ 130	▲ 60	▲ 58	▲ 2 ▲2	▲ 60	+70	-	
	エネルギー インフラ	▲ 26	44	17	50	29	36 30	65	+48	+15	国内地中線工事・機能線・送配 電部品等の売上増
電装 エレクトロ ニクス	自動車部品・ 電池	23	133	156	230	112	148 72	260	+104	+30	事業環境リスクの想定を見直し
	電装エレクトロ ニクス材料	6	25	31	45	31	14 5	45	+14	-	
機能製品		21	34	55	150	79	71 42	150	+95	-	
連結合計 (サービス・開発等、消去等を含む)		▲ 46	158	112	380	175	245 139	420	+308	+40	※サービス・開発等 ▲5 (開発費等の増加)

* 2024/11/7公表

セグメント別 売上高・営業利益 (Q3累計・通期予想)

(単位: 億円)	売上高			営業利益			売上高					営業利益				
	FY23_Q3	FY24_Q3	前年比	FY23_Q3	FY24_Q3	前年比	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	b-a	c	d	d-c	e	f	g	g-e	g-f	h	i	j	j-h	j-i
インフラ	1,989	2,227	+238	▲ 132	▲ 1	+131	2,782	3,000	3,050	+268	+50	▲ 113	▲ 10	5	+118	+15
情報通信ソリューション	1,229	1,281	+52	▲ 117	▲ 60	+57	1,680	1,750	1,750	+70	-	▲ 130	▲ 60	▲ 60	+70	-
エネルギーインフラ	760	946	+186	▲ 14	59	+74	1,102	1,250	1,300	+198	+50	17	50	65	+48	+15
電装エレクトロニクス	4,747	5,403	+656	102	221	+118	6,537	6,850	7,300	+763	+450	187	275	305	+118	+30
自動車部品・電池	2,763	2,984	+220	83	185	+102	3,798	3,900	4,050	+252	+150	156	230	260	+104	+30
電装エレクトロニクス材料	1,984	2,420	+436	19	36	+17	2,739	2,950	3,250	+511	+300	31	45	45	+14	-
機能製品	855	1,121	+266	39	121	+82	1,154	1,500	1,500	+346	-	55	150	150	+95	-
サービス・開発等	232	255	+23	▲ 16	▲ 26	▲ 10	316	300	300	▲ 16	-	▲ 19	▲ 35	▲ 40	▲ 21	▲ 5
連結消去	▲ 170	▲ 186	▲ 16	1	▲ 1	▲ 1	▲ 224	▲ 250	▲ 250	▲ 26	-	1	0	0	▲ 1	-
連結合計	7,653	8,820	+1,167	▲ 6	314	+320	10,565	11,400	11,900	+1,335	+500	112	380	420	+308	+40

*2024/11/7公表

1-(1) インフラ(情報通信ソリューション)

FY24_Q3累計

増収増益

(単位：億円)

	FY23_Q3	FY24_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,229	1,281	+52
営業利益	▲ 117	▲ 60	+57

【増減益要因】

- (+) データセンタ関連製品等の売上増
- (+) テレコム関連の需要回復

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)

	FY23	FY24 前回予想 ^{*1}	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,680	1,750	1,750	+70	-
営業利益	▲ 130	▲ 60	▲ 60	+70	-

据え置き

*1 2024/11/7公表

状況認識

	>>	FY24_H1	FY24_H2	>>
ファイバ・ケーブル		需要回復基調	顧客の在庫調整の解消	BEAD ^{*2} 25年度から本格化
光デバイス/ 国内NW 関連製品		データセンタ市場向け需要増		
		国内NW関連下期偏重		

注カポイント

- ・ 汎用品から高付加価値製品・ソリューションへのシフト
- ・ データセンタ・FTTx^{*3}市場での新規顧客開拓と製販体制強化

ローラブルリボンケーブル

ネットワークシステム

ITLA^{*4}・DFB^{*5}

*2 Broadband Equity Access and Deployment Program

*3 Fiber To The x (光ファイバを用いる通信サービス網の総称)

*4 Integrated Tunable Laser Assemble (回路付き波長可変光源)

*5 Distributed Feedback Laser (分布帰還型レーザ)

1-(2) インフラ(エネルギーインフラ)

FY24_Q3累計

増収増益

(単位：億円)

	FY23_Q3	FY24_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	760	946	+186
営業利益	▲ 14	59	+74

【増減益要因】

(+) 国内超高压・再エネ関連・機能線の売上増等

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)

	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,102	1,250	1,300	+198	+50
営業利益	17	50	65	+48	+15

* 2024/11/7公表

上方修正

状況認識

>>

FY24_H1

FY24_H2

>>

国内超高压

堅調な国内更新・再エネ関連需要

海底線

中国国内

需要回復は緩やか

機能線/部品

堅調な需要

注力ポイント

- 利益重視の受注と販売価格の適正化
- ケーブル製造および工事施工能力の増強

国内超高压・海底線

再エネ関連

- マーケティング活動の推進による拡販

らくらくアルミケーブル®

送配電部品

2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

FY24_Q3累計

増収増益

(単位：億円)

	FY23_Q3	FY24_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	2,763	2,984	+220
営業利益	83	185	+102

【増減益要因】

- (+) 安定した受注による生産性の改善
- (+) 電池の価格適正化

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)

	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	3,798	3,900	4,050	+252	+150
営業利益	156	230	260	+104	+30

* 2024/11/7公表

上方修正

状況認識

>>

FY24_H1

FY24_H2

>>

自動車
部品

顧客生産計画は概ね安定
自動車生産台数は微増
アルミハーネス搭載車種の増加

電池

車載、産業用ともに売上は下期集中

注カポイント

- 電動車市場に向けた製品開発、自動化

アルミワイヤハーネス・高電圧対応品

2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料)

FY24_Q3累計

増収増益

(単位：億円)	FY23_Q3	FY24_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,984	2,420	+436 ^{*1}
営業利益	19	36	+17

【増減益要因】

- (+) 製品ミックス等の改善
- (+) 為替影響等

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)	FY23	FY24 前回予想 ^{*2}	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	2,739	2,950	3,250	+511	+300 ^{*1}
営業利益	31	45	45	+14	-

*2 2024/11/7公表

売上高
のみ
見直し

状況認識

>>

FY24_H1

FY24_H2

>>

車載関連需要は堅調

エレクトロニクス関連需要の回復遅れ

注力ポイント

- 高付加価値製品の拡充と拡販

耐熱無酸素銅条
(パワー半導体・放熱部品用)

リボン線・極細平角線
(5G通信インフラ用)

高機能製品
(抵抗材等)

- 販売価格の適正化と低採算品種の撤退

*1銅価・為替変動の影響を含む

セグメント別売上高・営業利益
3 機能製品

FY24_Q3累計

増収増益

(単位：億円)

	FY23_Q3	FY24_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	855	1,121	+266
営業利益	39	121	+82

【増減益要因】

(+) データセンタ関連製品の売上増

FY24_通期予想

増収増益

(単位：億円)

	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,154	1,500	1,500	+346	-
営業利益	55	150	150	+95	-

据え置き

* 2024/11/7公表

状況認識

>>

FY24_H1

FY24_H2

>>

データセンタ関連投資の活況継続

HDD関連製品のサプライチェーン上の
在庫調整は想定より早く解消

スマートフォン・パソコン関連製品需要の回復は緩やか

注カポイント

- データセンタや再エネ関連市場向け高付加価値製品の増産・拡販
 - 半導体製造用テープ
 - 高機能放熱・冷却製品
 - HDD用薄型アルミブランク材
 - 高周波基板用銅箔

24年度Q3実績-要約B/S

(単位：億円)	FY23末*	FY24_Q3末	増減
	a	b	b-a
流動資産	5,178	5,574	+396
現金及び預金	489	535	+46
受取手形、売掛金及び契約資産	2,457	2,617	+159
棚卸資産計	1,836	2,013	+176
固定資産	4,672	4,544	▲ 128
有形固定資産	2,786	2,765	▲ 22
無形固定資産	203	202	▲ 1
投資その他の資産	1,683	1,578	▲ 105
資産合計	9,850	10,118	+268
流動負債	4,009	4,109	+100
固定負債	2,259	2,413	+155
負債合計	6,268	6,522	+254
株主資本	2,849	2,724	▲ 126
その他の包括利益累計額	434	559	+125
非支配株主持分	299	313	+14
純資産合計	3,582	3,596	+14
負債・純資産合計	9,850	10,118	+268
自己資本比率	33.3%	32.4%	▲ 0.9
NET有利子負債	2,841	2,905	+64
NET D/Eレシオ	0.87	0.89	+0.02

棚卸資産 176億円 増加
 (為替・銅価の影響： +15億円を含む)
 売上の増加 (FY23末比 112億円増加)
 将来売上予定のプロジェクト・工事案件等 (FY23末比 36億円増加)

有形・無形固定資産 23億円 減少
 設備投資・減価償却費の影響： ▲ 36億円
 為替影響： +24億円
 除売却等： ▲ 8億円

投資その他の資産 105億円 減少
 投資有価証券： ▲ 87億円
 ※主にUACJ株式保有区分の変更(関連会社株式 → 一般株式)

資産合計 268億円 増加
 売上増に伴う運転資本 +335億円
 連結範囲等の変動の影響： ▲ 148億円 ※主にUACJ
 為替影響： +51億円

株主資本 126億円 減少
 利益剰余金： ▲ 126億円 ※主にUACJ株式売却

その他包括利益 125億円 増加
 その他有価証券評価差額金： +205億円 ※主にUACJ株式時価評価益
 為替換算調整勘定： ▲ 55億円

*「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等」の変更によりFY23実績値をリステイト(Appendix参照)

■ 設備投資額の通期予想を見直し

(単位：億円)	FY23_Q3 累計	FY24_Q3 累計	前年比	FY23	FY24 前回予想*	FY24 予想	前年比	前回予想比
	a	b	b-a	c	d	e	e-c	e-d
設備投資額	260	238	▲22	390	480	400	+10	▲ 80
減価償却費	289	304	+15	390	410	410	+20	—
研究開発費	186	191	+4	245	260	260	+15	—

実施案件・時期・仕様の見直し

*2024/5/13公表

- 足元の需要環境が当面継続
- 需要の捕捉と成長に向けた取組みを加速

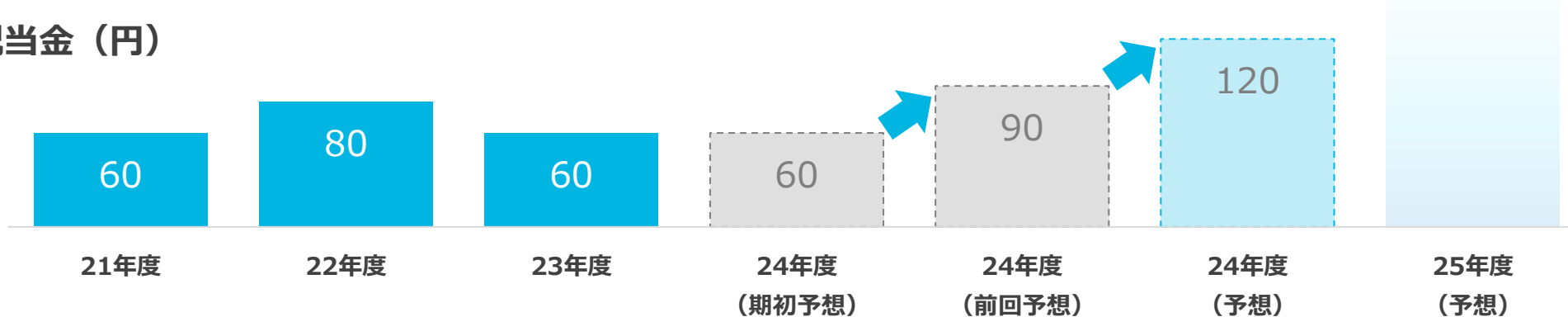
※政治や経済の不確実性に起因する市場変動の影響を注視

2025年度 主なセグメントの営業利益イメージ

セグメント	サブセグメント	FY23 実績	FY24予想		FY25 予想	前提
			H1	H2予想		
インフラ	情報通信ソリューション	▲130	▲58	▲2	▲60	<ul style="list-style-type: none"> ・データセンタ関連製品等の売上増（増産効果等含む） ・BEADプログラムによる需要創出（FY25下期以降）
	エネルギーインフラ	17	29	36	65	
電装 エレクトロニクス	自動車部品・電池	156	112	148	260	<ul style="list-style-type: none"> ・電池事業の非連結化 ・顧客の自動車生産台数はFY24並み ・エレクトロニクス関連製品需要の回復時期を注視
	電装エレクトロニクス材料	31	31	14	45	
機能製品		55	79	71	150	<ul style="list-style-type: none"> ・データセンタ関連製品の好調継続 ・半導体製造用テープの増産投資効果

■ 期末配当は、1株当たり120円を予想しております
(2024年11月7日公表の90円から30円増配)

1株当たりの年間配当金 (円)



親会社株主に帰属する当期純利益	101億円	159億円	65億円	130億円	220億円	300億円	370億円以上
配当性向	41.8%	35.4%	64.9%	32.5%	28.8%	28.2%	30%を目途

株主還元の方針

安定的かつ継続的に株主還元していくことを基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目途として業績に連動した配当を実施

ご清聴ありがとうございました

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。



Appendix

- 事業セグメント別 25中計目標（売上高・営業利益）
- 24年度からの変更点 -B/S-
- セグメントと事業部門

Appendix 事業セグメント別 25中計目標(売上高・営業利益)



(単位：億円)

	FY22			FY23			FY24予想			FY25目標 (2022年5月26日公表)		
	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率
インフラ	3,239	86	2.7%	2,782	▲113	▲ 4.0%	3,050	5	0.2%	3,600	160	4.4%
情報通信ソリューション	2,176	65	3.0%	1,680	▲130	▲ 7.7%	1,750	▲60	▲ 3.4%	2,300	115	5.0%
エネルギーインフラ	1,063	21	2.0%	1,102	17	1.6%	1,300	65	5.0%	1,300	45	3.5%
電装エレクトロニクス	6,103	47	0.8%	6,537	187	2.9%	7,300	305	4.2%	5,900	235	4.0%
自動車部品・電池	3,374	15	0.4%	3,798	156	4.1%	4,050	260	6.4%	3,300	165	5.0%
電装エレクトロニクス材料	2,730	32	1.2%	2,739	31	1.1%	3,250	45	1.4%	2,600	70	2.7%
機能製品※	1,265	42	3.3%	1,154	55	4.8%	1,500	150	10.0%	1,650	195	11.8%
サービス・開発等	317	▲ 21	▲ 6.6%	316	▲ 19	▲ 6.0%	300	▲ 40	▲ 13.3%	400	▲ 10	▲ 2.5%
合計 (消去等を含む)	10,663	154	1.4%	10,565	112	1.1%	11,900	420	3.5%	11,550	580	5.0%

※参考

機能製品 (特殊要因*を除く)	1,142	18	1.6%	1,154	55	4.8%	1,500	150	10.0%	1,433	153	10.7%
------------------------	--------------	-----------	-------------	--------------	-----------	-------------	--------------	------------	--------------	--------------	------------	--------------

*FY22Q4より東京特殊電線(株)連結除外

円/kg、円/米ドル	FY22	FY23	FY24	FY25
銅建値平均	1,209	1,262	1,453	1,085
為替平均	135	145	152	110

Appendix 24年度からの変更点 -B/S-

■ 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の変更

上記変更に伴うFY23実績のリステイト

	FY23末	
(単位：億円)		
流動資産	5,178	5,178
現金及び預金	489	489
受取手形、売掛金及び契約資産	2,457	2,457
棚卸資産計	1,836	1,836
固定資産	4,672	4,672
有形固定資産	2,786	2,786
無形固定資産	203	203
投資その他の資産	1,683	1,683
資産合計	9,850	9,850
流動負債	4,009	4,009
固定負債	2,261	2,259
負債合計	6,270	6,268
株主資本	2,847	2,849
その他の包括利益累計額	434	434
非支配株主持分	299	299
純資産合計	3,580	3,582
負債・純資産合計	9,850	9,850
自己資本比率	33.3%	33.3%
NET有利子負債	2,841	2,841
NET D/Eレシオ	0.87	0.87
ROE	2.1%	2.1%

Appendix セグメントと事業部門

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信ソリューション	ファイバ・ケーブル
		ファイテル製品
		ブロードバンドソリューション
	エネルギーインフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品		AT・機能樹脂
		サーマル・電子部品
		メモリーディスク
		銅箔
サービス・開発等		